

# FreeFlow VI Suite

## インストール補足説明書 (PX Print Server 対応)

管理番号 : ME4307J1-3

このたびは、FreeFlow Variable Information Suite をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

FreeFlow Variable Information (以降「VI」と記述します) Suite は、従来対応しているプリンターに加え、次に示すPX Print Server 対応のプリンターのシステムソフトウェアに、フォームやイメージなどの固定データとデータベースからの出力などの可変 (バリエブル) データを、様々な形式でプリントするアプリケーションのための実行環境を提供するソフトウェアです。

- ・ Color 1000/800 Press (PX1000 Print Server)

本書は、PX Print Server 対応のプリンターに対する VI Interpreter のインストール方法や、VIPP コマンドの仕様の差分情報を記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、有効にご利用いただくために、次のマニュアルと併せて、本書をご活用ください。

- ・ FreeFlow VI Suite インストールガイド
- ・ FreeFlow VI Suite 補足説明書
- ・ FreeFlow VIPP Language リファレンスガイド

また、他の FreeFlow VI Suite 機能のマニュアルについては、同梱の『VI Suite パッケージ説明書』を読んで、該当のマニュアルを参照してください。

なお、本書は、プリンターの操作に関する基本的な知識を習得されていることを前提に記載しています。

富士ゼロックス株式会社

Acrobat、Adobe、Adobe PostScript 3、Adobe ロゴ、Distiller、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

テキスト中のポストスクリプトの名称の全てのインスタンスは、別段の記載がない限り、アドビシステムズ社の定義によるポストスクリプト言語を示します。ポストスクリプトの名称は、ポストスクリプト言語のインタプリタ、その他のアドビ製品を、アドビシステムズ社が実装する際の商標としても使用されます。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101、見出ゴ MB31、見出ミン MA31 は株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止しており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改題することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、DocuTech、DocuSP、および FreeFlow は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

# 目次

---

## ■目次

## ■本書の使い方

1	VI Interpreter のインストール	4
	VI Interpreter の動作環境、および前提条件	4
	VI Interpreter のインストールの流れ	4
	インストール後の操作	5
2	Color 1000/800 Press	6
	白紙課金について	6
	サポート対象外のコマンドとパラメーター	6
	注意点のある、サポート対象のコマンド	7
	コマンドに関する注意点	7
	指定できる日本語フォント名 ( <i>fontname</i> )	9
	指定できるホチキス留めの引数	10
	指定できる折りの引数	11
	指定できるパンチの引数	12
	指定できる用紙名 ( <i>MediaSelect</i> )	13
	指定できる用紙の色 ( <i>MediaColor</i> )	14
	利用できる用紙サイズ ( <i>pagewidth</i> と <i>pageheight</i> )	15
	指定できるプリント出力の排出先 ( <i>OutputType</i> )	15
	TIFF 画像保存機能で、VIPP 用の TIFF の生成	16
	その他	17

# 本書の使い方

---

VI Suite を使用する前にお読みください。

## ■本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

### 1 VI Interpreter のインストール

PX Print Server への VI Interpreter のインストール方法について説明しています。

### 2 Color 1000/800 Press

VI Suite 関連アプリケーションを使用するうえでの、プリンター固有の制限情報を説明しています。

## ■本書の表記

本書では、以下の記号を用いて表現しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 〔例〕 <Enter> キーを押します。
[ ]	画面に表示されるメニューや項目を表します。 〔例〕 [ オン]、または [ オフ] を選択します。 [ ジョブ名]、[ 所有者]、[ 理由] の順に表示されます。
「 」	同一マニュアル内の参照箇所、入力する文字、パス名、ファイル名、およびメッセージを表します 〔例〕 「1.1 注意制限事項」を参照してください。 「漢字フォントが指定されていません。」と表示されます。
『 』	他のマニュアルの参照先マニュアル名を表します。 〔例〕 『VI Suite インストールガイド』を参照してください。
<b>注記</b>	操作に関する注意事項を表します。
<b>補足</b>	必要に応じて、読んでいただきたい情報を表します。
<b>参照</b>	参照先を表します。

# 1 VI Interpreterのインストール

PX1000 Print Server へのインストールについて説明します。

## VI Interpreter の動作環境、および前提条件

VI Interpreter をインストールできるプリンターとサーバーのシステムバージョンに、次表の内容が追加されました。次表の内容は、VI Interpreter をインストールするための前提条件にもなります。

プリンター	サーバー	ドライブの 空き容量
Color 1000/800 Press	PX1000 Print Server Ver. 5.0	200MB 以上

**補足** 本書では、PX1000/800 Print Server を「PX Print Server」と称します。

## VI Interpreter のインストールの流れ

VI Interpreter をインストールする手順の流れは、次のとおりです。

### インストールの流れ

**1** VI Interpreter に対応するプリンターのシステムソフトウェアのバージョンが、お使いのプリンターのバージョンと同じかどうかを確認します。

同じ場合は、手順 **2** に進んでください。異なる場合は、VI Interpreter に対応しているバージョンに、PX Print Server をアップグレードしてから、手順 **2** に進みます。

**注記** VI Interpreter に対応するプリンターのシステムバージョン以外で、VI Interpreter をインストールした場合、動作の保証はできません。

**参照** バージョンの確認手順は、『VI Suite インストールガイド』の、「3.2.1 VI Interpreter のインストール手順」の「VI Interpreter のインストール手順」の手順 **1** (P. 50) を参照してください。

**2** VI Interpreter をインストールします。

**参照** インストールの手順は、『VI Suite インストールガイド』の、「3.2.1 VI Interpreter のインストール手順」の「VI Interpreter のインストール手順」の手順 **1 ~ 13** (P. 50 ~ 55) を参照してください。

**3** 追加ファイルをインストールします。

**参照** インストールの手順は、『VI Suite インストールガイド』の、「3.2.1 VI Interpreter のインストール手順」の「VI Interpreter のインストール手順」の手順 **14 ~ 17** (P. 55) を参照してください。

**4** VI Interpreter が正常にインストールされたかどうかを確認するために、テスト文書をプリントします。

**参照** テスト印刷の手順は、『VI Suite インストールガイド』の「3.2.2 テスト印刷」(P.56)を参照してください。

**5** VI Interpreter をインストールしたあとに、ライセンスの取得および設置をします。

**参照** ライセンスの取得および設置の手順は、『VI Suite インストールガイド』の「3.3 ライセンスの取得と設置」(P.57～59)を参照してください。

## インストール後の操作

---

次の操作については、次表の参照先に従って操作してください。

インストール後の操作	『VI Suite インストールガイド』の参照先
VI Interpreter データのバックアップ	「3.4 VI Interpreter のデータのバックアップ」(P.60)
VI Interpreter のアンインストール	「3.6 VI Interpreter のアンインストール」(P.63～66)
VIPP ジョブを出力するときの注意点	「3.7 VIPP ジョブを出力するときの注意点」(P.67)

# 2 Color 1000/800 Press

---

VI Interpreter を利用できる機種に、Color 1000/800 Press が追加されました。利用できるシステムソフトウェアのバージョンは、次のとおりです。

- PX1000 Print Server Ver. 5.0

- 補足** • 次のオプション商品を購入することで、バーコードフォントを使用できます。詳しくは、弊社担当者にお問い合わせください。
- FreeFlow VI Suite 対応フォント A (バーコードフォント)
  - FreeFlow VI Suite 対応フォント D (KAJO-J 明朝)

## 白紙課金について

---

Color 1000/800 Press のプリンター側のビリングメーターは、次のような動作になります。

- プリントするページ上に、何らかの画像が存在する場合にカウントする
- プリントページ上に、モノクロイメージだけが描画されている場合には、モノクロのページとしてカウントする
- プリントするページ上に、カラーイメージを含む場合には、カラーページとしてカウントする

## サポート対象外のコマンドとパラメーター

---

次のコマンドとパラメーターは、サポートしていません。

### ■ コマンド

- BIND\_off
- BIND\_on
- ENDOFSET
- MSPP\_on
- SETOBINT
- STAPLE\_off
- STAPLE\_on
- STAPLEDETAILS
- STARTOFSET

### ■ パラメーター

- /MediaSubst

## 注意点のある、サポート対象のコマンド

---

次のサポート対象のコマンドについては、使用するうえで注意点があります。

- **参照** ● コマンドの注意点については、次項の「コマンドに関する注意点」(P. 7) を参照してください。
- **SETPAGESIZE** コマンドで指定できる定型サイズ用紙に対応する、各単位での用紙サイズについては、「利用できる用紙サイズ (pagewidth と pageheight)」(P. 15) を参照してください。
- **SETOBIN** コマンドで指定できるプリントの出力 (排出) 先については、「指定できるプリント出力の排出先 (OutputType)」(P. 15) を参照してください。

### ■ コマンド

- CACHE
- IGNOREBT\_off
- IGNOREBT\_on
- INDEXFONT
- PRECACHE
- SETFINISHING
- SETFONT
- SETOBIN

## コマンドに関する注意点

---

次のコマンドを使用するときの注意点や、コマンドおよびパラメーターで使用する属性値について説明します。

### ■ CACHE

Color 1000/800 Press には、Xerox キャッシュ機能は実装されていません。そのため、Color 1000/800 Press でキャッシュ機能を使用するときには、次のような制限があります。

- /Caching パラメーターが 11 や、12 であっても、すべての VIPP キャッシュ機能は、Adobe キャッシュを用いて実現されます。
- **PRECACHE** コマンドを用いても、プリンター側のサーバーの外部記憶装置上に、プレキャッシュリソースファイルは作成されません。このため、あるジョブで **PRECACHE** コマンドを用いたリソースを、以降のジョブで呼び出すというワークフローは使用できません。

### ■ IGNOREBT\_off

不正な、またはサポートされていない形式のイメージを含んだ VIPP ジョブを出力すると、不正なイメージ直前のページまでを出力します。このとき、エラーシートが出力されます。

### ■ IGNOREBT\_on

不正な、またはサポートされていない形式のイメージを含んだ VIPP ジョブを処理したときは、それらのイメージは無視されて出力されます。ただし、ジョブ終了後にエラーシートは出力されません。

## ■ INDEXFONT

フォントのインデックスを作成するために指定できる日本語フォント名 (*fontname*) は、Color 1000/800 Press で提供しているフォントとエンコードを指定します。

**参照** 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名 (*fontname*)」(P. 9) を参照してください。

## ■ PRECACHE

Color 1000/800 Press には、Xerox キャッシュ機能は実装されていません。そのため、Color 1000/800 Press でキャッシュ機能を使用するときには、次のような制限があります。

- /Caching パラメーターが 11 や、12 であっても、すべての VIPP キャッシュ機能は、Adobe キャッシュを用いて実現されます。
- PRECACHE コマンドを用いても、プリンター側のサーバーの外部記憶装置上に、プレキャッシュリソースファイルは作成されません。このため、あるジョブで PRECACHE コマンドを用いたリソースを、以降のジョブで呼び出すというワークフローは使用できません。

## ■ SETFINISHING

- Color 1000/800 Press で後処理を指定する場合には、SETFINISHING コマンドを使用します。他の機種で使用している STAPLE\_on、STAPLE\_off、および STAPLEDETAILS コマンドによる後処理は、Color 1000/800 Press ではサポートしていません。

- 後処理の動作には、ホチキス留め、折り、パンチ（穴あけ位置と数）が指定できます。

**参照** 指定できる後処理の動作については、次の各項目を参照してください。

- 「指定できるホチキス留めの引数」(P. 10)
- 「指定できる折りの引数」(P. 11)
- 「指定できるパンチの引数」(P. 12)

## ■ SETFONT

指定できる日本語フォント名 (*fontname*) は、Color 1000/800 Press で提供しているフォントとエンコードを指定します。

**参照** 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名 (*fontname*)」(P. 9) を参照してください。

## ■ SETOBIN

SETOBIN コマンドは、必ずジョブの先頭に記述してください。

ジョブの途中で SETOBIN コマンドを記述しても、排出先は切り替わりません。

## 指定できる日本語フォント名 (*fontname*)

---

指定できる日本語フォント名（フォント7書体とエンコード（よこ書き：6種類、たて書き：5種類）は、次のとおりです。

### ■ フォント

- /Jun101-Light（じゅん 101 (Light)）
- /GothicBBB-Medium（中ゴシック BBB (Medium)）
- /FutoMinA101-Bold（太ミン A101 (Bold)）
- /FutoGoB101-Bold（太ゴ B101 (Bold)）
- /MidashiGo-MB31（見出しゴ (MB31)）
- /MidashiMin-MA31（見出しミン (MA31)）
- /Ryumin-Light（リュウミン L-KL (Light)）

### ■ エンコード（よこ書き）

- 83pv-RKSJ-H
- 90ms-RKSJ-H
- 90pv-RKSJ-H
- Ext-RKSJ-H
- RKSJ-H
- UniJIS-UTF8-H

### ■ エンコード（たて書き）

- 90ms-RKSJ-V
- 90pv-RKSJ-V
- Ext-RKSJ-V
- RKSJ-V
- UniJIS-UTF8-V

## 指定できるホチキス留めの引数

指定できるホチキス留めの引数は、次表のとおりです。

引数	ホチキス留めの説明
SinglePortrait	左上ホチキス1か所—たて
SingleLandscape	左上ホチキス1か所—よこ
DualPortrait	左ホチキス2か所—たて
DualLandscape	上ホチキス2か所—よこ
RightPortrait	右上ホチキス1か所—たて
RightLandscape	右上ホチキス1か所—よこ
DualTopPortrait	上ホチキス2か所—たて
DualBottomPortrait	下ホチキス2か所—たて
DualBottomLandscape	下ホチキス2か所—よこ
DualLeftLandscape	左ホチキス2か所—よこ
DualRightLandscape	右ホチキス2か所—よこ
DualLeftPortrait	左ホチキス2か所—たて
DualRightPortrait	右ホチキス2か所—たて
CenterTopPortrait	上中央ホチキス1か所—たて
CenterBottomPortrait	下中央ホチキス1か所—たて
CenterRightPortrait	右中央ホチキス1か所—たて
CenterTopLandscape	上中央ホチキス1か所—よこ
CenterBottomLandscape	下中央ホチキス1か所—よこ
CenterRightLandscape	右中央ホチキス1か所—よこ
CenterLeftLandscape	左中央ホチキス1か所—よこ
BottomLeftPortrait	左下ホチキス1か所—たて
BottomRightPortrait	右下ホチキス1か所—たて
BottomLeftLandscape	左下ホチキス1か所—よこ
BottomRightLandscape	右下ホチキス1か所—よこ

## 指定できる折りの引数

---

指定できる折りの引数は、次表のとおりです。

引数	折りの説明
CFold	内三つ折り（内側にプリント）
ZFold	外三つ折り（内側にプリント）
ZFoldOutside	外三つ折り（外側にプリント）
ZFoldInside	外三つ折り（内側にプリント）
CFoldOutside	内三つ折り（外側にプリント）
CFoldInside	二つ折り（内側にプリント）
BiFoldInside	二つ折り（内側に印字）
BiFoldOutside	二つ折り（外側に印字）
BookletFold	二つ折り（外側に印字）
ZFoldRightHalf	Z折りー右側折込み
BookletSaddleStitch	中とじ

## 指定できるパンチの引数

指定できるパンチ（穴あけ位置と数）の引数は、次表のとおりです。

- パンチ位置（穴あけ位置）

引数	パンチ位置（穴あけ位置）の説明
TopPortrait	上パンチーたて
BottomPortrait	下パンチーたて
RightPortrait	右パンチーたて
LeftPortrait	左パンチーたて
TopLandscape	上パンチーよこ
BottomLandscape	下パンチーよこ
RightLandscape	右パンチーよこ
LeftLandscape	左パンチーよこ

- パンチ数（穴あけ数）

引数	パンチ数（穴あけ数）の説明
Two	2 穴
Three	3 穴
Four	4 穴
System	システムデフォルトの穴数

**補足** お使いのプリンターの構成によっては2穴以外に、3穴（オプション）または4穴のどちらか一方だけ指定できます。

## 指定できる用紙名 (MediaSelect)

指定できる用紙名 (MediaSelect) は、次表のとおりです。

SETMEDIA、または SETMEDIAT コマンドで指定する用紙名	用紙タイプ
Transparency	OHP フィルム
Uncoat	非コート紙
UncoatSide2	非コート紙 (非コート紙 うら面)
Coat	コート紙
TransparencyInterleave	OHP フィルム (白紙挿入)
TransparencyInterleaveImage	OHP フィルム (プリント)
Recycled	再生紙
Punched	穴あき紙
CoatSide2	コート紙 (コート紙 うら面)
Tackfilm	タック紙
TransferPaper	転写紙
Label	ラベル紙
Index	インデックス紙
Postcard	はがき トレイに、はがきセットガイドが取り付けられている場合に限って、 はがきが使用できます。
postnoimage	この機能は、オプションのフィニッシャーD4 が装備時だけ利用できます。 利用するには、プリンターのフィニッシャーD4 の用紙設定で、用紙タイプを「postnoimage」というユーザー定義タイプに設定しておく必要があります。次の場合に、この機能を使用します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• プリント済みの用紙を途中で挿し込む場合などに利用する</li><li>• フィニッシャーD4 のインターポーザーを使用し、用紙にプリントしないで、給紙だけしたい場合に使用する</li></ul>

**注記** PX Print Server で、特に用紙タイプを指定しない場合は、常に論理プリンターで指定された用紙タイプで出力されます。また、用紙タイプ指定ではなく、トレイ指定をした場合には、指定トレイに論理プリンターで指定された用紙タイプの用紙をセットしておく必要があります。

〔例〕 SETMEDIA コマンドによって、非コート紙の用紙を指定した場合

```
(Uncoat) SETMEDIA
```

## 指定できる用紙の色 (MediaColor)

---

指定できる用紙の色 (MediaColor) は、次表のとおりです。

色 (MediaColor)	用紙の色の説明
noColor	透明
White	白
Blue	青
Cream	クリーム
Green	みどり
Gray	グレー
Brightyellow	山吹色
Ivory	アイボリー
Orange	オレンジ
Pink	ピンク
Red	赤
Yellow	黄色

**補足** 色 (MediaColor) に指定する文字列では、大文字や小文字の違いは無視されます。

## 利用できる用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*)

定型サイズの用紙に対応する、各単位での用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*) は、次表のとおりです。

**補足** Width と Height の下段にある ( ) 内は、サイズの単位を表します。

用紙サイズ	Width (MM)	Height (MM)	Width (INCH)	Height (INCH)	Width (POINT)	Height (POINT)
A4	210	297	8.3	11.7	595	842
8.5 x 11 Letter LEF	216	279	8.5	11.0	612	792
11 x 17	279	432	11.0	17.0	792	1224
A3 SEF	297	420	11.7	16.5	842	1191
12 x 18	305	457	12.0	18.0	864	1296
SRA3	320	450	12.6	17.7	907	1275
12.6 x 19.2 SEF	320	487	12.6	19.2	907	1380
B4 (JIS) SEF	257	364	10.1	14.3	729	1033
B5 (JIS) LEF	182	257	7.2	10.1	516	729

用紙サイズ	Width (DOT3)	Height (DOT3)	Width (PELS)	Height (PELS)	Width (CM)	Height (CM)
A4	2479	3508	1983	2807	21.0	29.7
8.5 x 11 Letter LEF	2550	3300	2040	2640	21.6	27.9
11 x 17	3300	5100	2640	4080	27.9	43.2
A3 SEF	3508	4963	2807	3970	29.7	42.0
12 x 18	3600	5400	2880	4320	30.5	45.7
SRA3	3779	5313	3023	4250	32.0	45.0
12.6 x 19.2 SEF	3779	5750	3023	4600	32.0	48.7
B4 (JIS) SEF	3038	4304	2430	3443	25.7	36.4
B5 (JIS) LEF	2150	3038	1720	2430	18.2	25.7

## 指定できるプリント出力の排出先 (*OutputType*)

プリントの出力 (排出) 先 (*OutputType*) は、次表のとおりです。

出力先名 ( <i>OutputType</i> )	出力先の説明
TopTray	トッパートレイ
StackerTray	スタッカー

# TIFF 画像保存機能で、VIPP 用の TIFF の生成

PX Print Server の TIFF 画像保存機能を使用して、VIPP の ICALL、CACHE、または RUNDD コマンドで利用できる画像を生成できます。

次の①～④の工程で、TIFF 画像を生成します。

- ① 「FX\_RIP.ini」ファイルの修正
- ② ジョブオプションの設定
- ③ 作業フォルダー設定の変更
- ④ PX Print Server の再起動

次の手順に従って、VIPP の ICALL、CACHE、または RUNDD コマンドで利用できる画像を生成します。

## 操作手順

- 1** Windows のアクセサリに含まれているメモ帳などのテキストエディターで、次のファイルを開きます。

D:\¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥bin¥FX\_RIP.ini

- 2** ファイル内の “MakeChunkyTIFF” に設定されている値を、2 に変更します。

- 3** TIFF 保存を行うための、次のジョブオプションを設定した論理プリンターを作成します。

- プリフライト

TIFF ファイルで保存するをオンに選択し、強制上書きします。

- 4** PX Print Server の操作画面で、[ファイル] メニューから、[特別]、[作業用フォルダ設定] の順に選択します。

[パスワード確認] ダイアログボックスが表示されます。

- 5** 管理者のパスワードを入力します。

[作業用フォルダの変更] ダイアログボックスが表示されます。

- 6** TIFF 保存フォルダーに、次のフォルダーを設定します。

E:\¥xgfc¥imglib

- 7** [OK] ボタンをクリックします。

- 8** PX Print Server を再起動します。

次のパス以下に、RUNDD コマンドで呼び出しできる、複数の TIFF ファイルが作成される設定になります。

E:\¥xgfc¥imglib¥tiff¥000¥Image

## その他

---

VI Interpreter を使用するうえで、次の制限事項があります。

### ■ xgfc 以下に、「vpcf」の名前が付いたフォルダーの作成禁止

「xgfc¥vpcf」のフォルダーは、本バージョン以降での VPC サポート時、中間ファイルの生成フォルダーとして使用します。このため、同名のフォルダーを「xgfc」フォルダー内に作成しないでください。作成した場合の動作の保証はできません。

### ■ フルカラー 2、フルカラー 3 モードでの使用不可

[カラーモード] を [フルカラー 2 (RGB/CMYK)]、または [フルカラー 3 (RGB/CMYK)] に設定した場合、VIPP ジョブは正常に処理されません。

VIPP ジョブを出力するには、[カラーモード] を [グレースケール (K)]、または [フルカラー 1 (RGB/CMYK)] に設定してください。

### ■ VIPP ジョブの動作保証

ジョブの末尾には、必ず '%EOF' マーカーを記述してください。記述がない場合、ジョブの動作は保証できません。

### ■ コンポジット特色補正のオンでの設定禁止

[カラー]、[カラー詳細 (特色設定)] の順に選択し、[コンポジット特色補正] をオンにした場合、VIPP の各カラー名が特色として扱われます。プリンターのサーバー内の特色辞書に存在しない VIPP カラー名で、名前の解決ができないことで、特色未登録エラーが発生したためです。[コンポジット特色補正] をオフにすることで、問題を回避できます。

### ■ その他

上記以外に、『FreeFlow VI Suite 補足説明書』の「1.1 注意制限事項」(P.16 ~ 22) もお読みください。また、「PX5000 Print Server Ver.4.0」を「PX1000 Print Server Ver.5.0」に読み替えてください。

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

 **フリーダイヤル** 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、<http://www.fujixerox.co.jp> です。

## FreeFlow VI Suite **インストール補足説明書** (PX Print Server 対応)

著作者 富士ゼロックス株式会社  
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2010年5月 第1版

(管理番号：ME4307J1-3)